

## “今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ☆最初のISS構成要素打上げから2685日経過しました
- ☆第12次長期滞在クルーのISS滞在は177日経過しました
- ☆ISS動向

第12次長期滞在クルーのウィリアム・マッカーサーとバレリー・トカレフ両宇宙飛行士は、4月1日に到着する交代要員のための受け入れ準備をしています。

ふたりは、自分の所有物や持ち帰る機器や実験器材などの荷造りを行いました。また、ふたりは紛失したロシアのオーラン宇宙服用二酸化炭素吸着キャニスターを探し続けています。探索は続けますが、新しいキャニスターは4月に予定されているプログレス補給船で運ばれます。次回オーラン宇宙服を使用した船外活動は8月に計画されています。

第13次長期滞在クルーのパベル・ビノグラドフとジェフリー・ウィリアムズ両宇宙飛行士およびブラジル初の宇宙飛行士であるマルコス・ポンテス宇宙飛行士の3人は、カザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地で打上げの最終準備作業を行っています。

3人はソユーズTMA-8宇宙船(12S)に乗って3月30日午前11時30分に打ち上げられる予定です。打上げの様子は3月30日午前10時45分からNASA TVで生中継されます。ISSへのドッキングは、4月1日午後1時19分の予定です。

ポンテス宇宙飛行士は8日間ISSに滞在し、第12次長期滞在クルーのふたりと一緒に帰還します。



ディスティニー(米国実験棟)で作業するマッカーサー宇宙飛行士



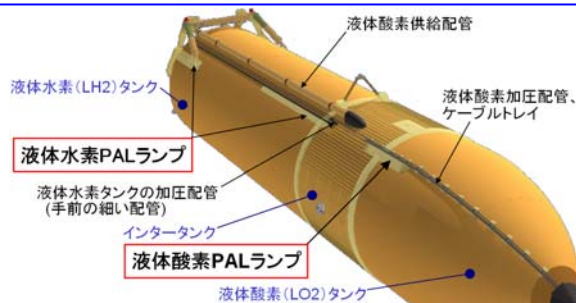
左から第13次長期滞在クルーのウィリアムズ、ビノグラドフ両宇宙飛行士と訪問クルーのポンテス宇宙飛行士

## “スペースシャトル最新状況”

NASAは米国時間3月14日に、スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-121)の打上げ時期を2006年5月から2006年7月1日～19日の期間に変更すると発表しました。打上げ時期の変更は、追加の作業を行うためとクルーと機体の安全な飛行を確保するための分析に時間を要するためです。

追加の作業としては、外部燃料タンク(ET)内部の燃料枯渇センサ(ECOセンサ)4基のうちの1基の値が異常値を示していたため液体水素タンク側の4基のECOセンサ全てを交換、ETのPALランプ\*を除去した結果を確認するための試験と解析、ディスカバリー号の整備中に誤ってゴンドラがぶつかって損傷したロボットアームの修理作業です。

\* PAL (Protuberance Airload) ランプ: 突起部による気流の乱れを整流する成形部



ECOセンサ交換のためETの底を開ける

## “インフォメーション”

## ☆来て！見て！宇宙がいっぱい～筑波宇宙センター特別公開開催案内

科学技術週間の一環として、筑波宇宙センター特別公開が4月22日(土)に開催されます。普段、目にするのできない様々な宇宙開発の施設や最新の活動・プロジェクト内容等をわかりやすくご紹介します。

目玉イベントとして「向井宇宙飛行士のミニミニ宇宙学校！」を開催します。

## ●向井宇宙飛行士のミニミニ宇宙学校

時間: 11:00～11:30(先着150名様\*) 13:15～13:45(先着150名様\*)

場所: 宇宙実験棟2階大会議室

\* 予約、整理券はありません

ミニミニ宇宙学校の問合せ先: TEL 029-868-3074

## ●筑波宇宙センター特別公開の問合せ先

広報部筑波広報グループ TEL 029-868-4281、5216 平日10:00～17:30

実施イベントなどについては下記ページをご覧ください。

[http://visit.jaxa.jp/tsukuba/index\\_j.html](http://visit.jaxa.jp/tsukuba/index_j.html)

[http://visit.jaxa.jp/tsukuba/img/topics/topics\\_20060315.pdf](http://visit.jaxa.jp/tsukuba/img/topics/topics_20060315.pdf)

※当日はつくばサイエンスツアーオフィスとの協力で、つくばエクスプレス「つくば駅」から無料シャトルバスが運行されます。



問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール [kibo-pao@jaxa.jp](mailto:kibo-pao@jaxa.jp)

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。